

長野県松川高等学校ボランティア部

長野県下伊那郡松川町／長野県推薦

代表者名:大平 一真 活動開始:平成23年3月 団体構成員数:21名

「平成から令和を繋ぐ平和のメッセンジャーになる」をキーワードに、主に3つの活動を中心とするボランティア活動を行っている高校生の部活動です。

(1) 東日本震災被災地との「東北支援交流活動」、(2)松川町の「こどもカフェHug」における小中学生への食事提供、学習支援活動の補助、(3)長野県阿智村にある満蒙開拓平和記念館での「展示ガイドボランティア」や語り部の体験談の書き起こしなどを行っています。その他、自然災害被災地支援のための募金活動や途上国の子供たちに手作りノートを届ける活動等にも取り組み、幅広い年齢層の地域住民と協働する活動に繋がっています。これらの活動をとおり高校生が地域への感謝の念を抱くとともに、高校生に地域貢献への意欲や地域活性化の礎になろうとの思いが育まれています。

選考委員のコメント

ボランティア活動から地域住民を巻き込み町全体での活動に繋がった「東北を支援する有志の会」の活動や子供食堂支援、地域の歴史保存の一助となる満蒙開拓記念館でのボランティア活動等、様々な課題へ高校生らしい視点から取り組む姿勢を高く評価しました。

受賞の言葉

ボランティア部の様々な活動が認められ、このたび内閣府特命担当大臣表彰をいただくことができ、たいへん光栄です。ボランティアは地道で縁の下の力持ち的な活動ですが、その活動に光を当て顕彰いただきましたことは、私たちの誇りであり今後への大きな励みになります。今回の受賞はひたむきに脈々と活動を続けてきた先輩方、また、私たち高校生を信頼し包容力ある温かいお心で陰になり日向になり支えて下さった地域の皆様方のご支援とご協力の賜物と心から感謝しています。栄えある賞に恥じぬよう、「未来をつくる若者」としての自覚と誇りをもって、今後も地域社会での活動、災害被災地や途上国への支援活動に取り組み、謙虚に、かつ真摯に研鑽を積んでいきたいと思っております。



子供食堂との共同企画
3. 11追悼セレモニーin松川



満蒙開拓平和記念館
での展示ガイドボランティア



石巻市立湊小学校で
東北支援交流活動



表彰式の様子